



Hachinohe Magic Lantern
Tokihiro Sato

八戸市美術館

11月10日(土) - 11月14日(月・祝)

11月10日(土) - 11月14日(月・祝)

主催 | 八戸市美術館
協賛 | 株式会社 ニコン
協力 | 三菱製紙株式会社
後援 | 青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、コミュニティラジオ局 BeFM、デーリー東北新聞社、東奥日報社、八戸市教育委員会、八戸テレビ

An Hour Exposure Masurei #11 (部分)



八戸マジックランタン

佐藤時啓

Hachinohe Magic Lantern
Tokihiro Sato

11月10日(土) - 11月14日(月・祝)

On the Rocks #14 (部分)

主催 | 八戸市美術館
協賛 | 株式会社 ニコン
協力 | 三菱製紙株式会社
後援 | 青森朝日放送、青森テレビ、青森放送、コミュニティラジオ局 BeFM、デーリー東北新聞社、東奥日報社、八戸市教育委員会、八戸テレビ
撮影協力 | 大平洋金属株式会社、八戸鉱山株式会社、八戸セメント株式会社

八戸市美術館
Hachinohe Art Museum

マハ ラジックランタン

佐藤時啓
Hachinohe Magic Lantern
Tokihiro Sato



写真のまち八戸×本のまち八戸

八戸市美術館では、写真のまち八戸として、著名な写真家や公募による写真展を行ってきました。また、八戸ブックセンターでは、本のまち八戸として、本に関する展示やイベントを行ってきました。写真と本をテーマに、八戸市が展開してきたふたつのまちづくりを横断して、美術館では写真展を、ブックセンターでは展覧会図録の制作に焦点を当てた展示を行うことで、八戸の魅力を伝えます。

三菱製紙八戸工場

操業開始は1967年。震災や経済変動の荒波を乗り越え、国内有数の製紙工場として、また地域を支える地元産業として、半世紀以上にわたり良質な紙をつくりつけてきました。近年は、企業間連携によるバイオマス発電事業への着手や家庭紙工場の新設など、未来を見すえた基盤強化を着実に進め、さらなる飛躍を目指しています。

展覧会図録ができあがるまでの裏話を詳しくお話しします。

ゲスト | 松本知己 (編集者)

野村浩 (デザイナー)

※詳細はHPをご覧ください。

・販売価格 / 3,600円+税

・ISBN 978-4-909442-37-6



《On the Sea #13》



トークイベント
やりますよ！

投影していると
魚が集まって
くるのが見えたよ。
写真の左奥に
三菱製紙工場が
写っているよ！

八戸ブックセンター

開館時間 | 10時～20時 (日・祝は19時閉館)
休館日 | 火曜日 (1月3日は開館)、
12月29日、30日、31日、1月1日
観覧料 | 無料

〒031-0033 青森県八戸市大字六日町 16-2
Garden Terrace 1 階
TEL: 0178-20-8368
FAX: 0178-20-8218

<https://8book.jp>

【アクセス】
電 車 | 東北新幹線「八戸駅」からJR八戸線
「本八戸駅」下車 (約10分) → 八戸市美術館 徒歩約10分 →
八戸ブックセンター 徒歩約5分
バ ス | 東北新幹線「八戸駅」東口前バス乗り場1番から中心
街方面乗車、中心街ターミナル「八日町」下車 (約20分) → 八
戸市美術館 徒歩約2分、八戸ブックセンター 徒歩約3分

※一般駐車場はございません (八戸市美術館は障がい者用2台あり)。



《On the Rocks #13》

《Magic Lantern》シリーズ
祭りや南部馬のイメージを投影して撮影したシリーズ。岩に映し出した《On the Rocks》、
海に映し出した《On the Sea》、港の構造物に映し出した《On the Niche》などで構成される。
光によって感じる岩肌や海面、また、遠くに行き交う船や飛行機、
そしてゆっくりと回転する天体が共に写し出されている。

写真のまち八戸
佐藤時啓 ― 八戸マジックランタン ―
八戸市美術館では、写真家・美術家の佐藤時啓による個展を開催します。本展覧会は、六年に及ぶ制作期間を経て撮影された、八戸を舞台とした作品を中心に構成されています。
《Magic Lantern》シリーズは、ろうそくやランプの光とレンズを利用して、ガラスに描かれた絵を投影する装置「マジックランタン (幻燈機)」から着想を得て制作されました。これまでの長時間露光による撮影手法を踏襲しつつも、祭りや漁港、名勝地などの風景を重ね合わせた新たな手法により、地域に潜在する歴史や文化的意識を想起させる作品群です。さらに、前方の景色を手元に映し出す光学装置の構造を用いた《Camera Lucida》シリーズ、シャッターを一時間開けたまま撮影した《An Hour Exposure》シリーズが加わります。また、カメラの原理「カメラオブスクラ」を荷台に乗せた、佐藤の制作による「リヤカーカメラ」を体験するプロジェクトなども実施します。
そのほか、八戸市民による、八戸の風景をテーマとした写真展も同時に開催します。

プロジェクト「リヤカーカメラに乗ってみよう」

自転車とリヤカーを組み合わせた移動式巨大カメラに乗って、景色を楽しみませんか？

①10月10日 (月・祝)
②11月6日 (日)
各 10:30～15:00
会場 | ①八戸公園
②美術館
参加費 | 無料
申込 | 不要

リヤカーカメラ
移動式のカメラオブスクラ。籠部分に乗客が乗って移動することで、内部の白板に外の風景が映し出される。
八戸では市民メンバー (アートファーマー) が運行を行い、公園や美術館を走る。

トークイベント「マジックランタンと八戸ハウス」

撮影の拠点となった「八戸ハウス」での生活を作家が振り返ります。

12月3日 (土) 14:00～15:30
会場 | 美術館ジャイアントルーム
講師 | 佐藤時啓
参加費 | 無料
定員 | 50名
申込 | 要予約、電話またはメール

ワークショップ「段ボールカメラ」

段ボール箱で不思議なカメラをつくります。

12月4日 (日) 10:30～15:00
会場 | 美術館ワークショップルーム
講師 | 佐藤時啓
参加費 | 無料
定員 | 10組
対象 | 小・中学生 (小学生以下保護者同伴)
申込 | 要予約、電話またはメール

市民写真展「八戸フォトマッピング」

市民の視点でとらえた八戸の風景を展示します。

12月18日 (日)～1月9日 (月・祝)
時間 | 10:00～19:00
会場 | 美術館ギャラリー1・2
観覧料 | 無料

ギャラリートーク

当館学芸員による

ギャラリートークを行います。

11月19日 (土)、12月17日 (土)
時間 | 17:00～18:00
参加費 | 無料 ※要展覧会チケット
申込 | 不要

同時開催コレクションラボ002

「地をみつめる」

9月10日 (土)～1月16日 (月)
会場 | 美術館コレクションラボ
観覧料 | 無料



《An Hour Exposure》シリーズ

「エクスポージャー」とは露光の意味。1時間の露光時間で祭りや港に停泊している漁船、種差海岸の風景などを撮影したシリーズ。同じ撮影時間でも、ゆったりとした時間の流れを感じさせる作品から、逆にスピードを感じさせる作品があるなど、対象物によって見え方が変わる。



八戸市美術館

開館時間 | 10時～19時 (入場は18時半まで) /
12月28日～1月4日は10時～17時
(入場は16時半まで)

休館日 | 火曜日、12月31日、1月1日 (1月3日は開館)

観覧料 | 一般800円 (650円)

大学・専門学生400円 (300円)

※ () 内は20名以上の団体料金

※ 本展覧会に限り何度でもご覧になれます。

一般1,200円 / 大学・専門学生・65歳以上600円

ナイト割 | 毎日17時以降半額。

駐車場割 | 民間駐車場をご利用の運転者1名分に団体料金適用。

※11月3日、12月24日は無料デー。

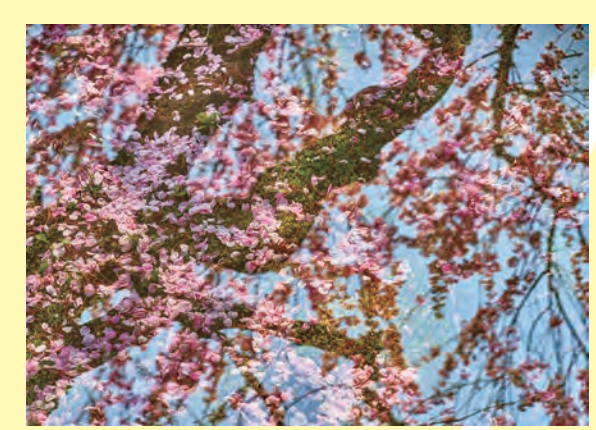
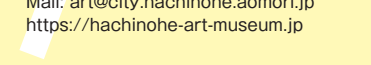
※八戸市内及び近隣町村 (三戸町、五戸町、田子町、

南部町、階上町、新郷村、おいらせ町) の65歳以上の方、

障がい者手帳をお持ちの方とその付添者1名は半額。

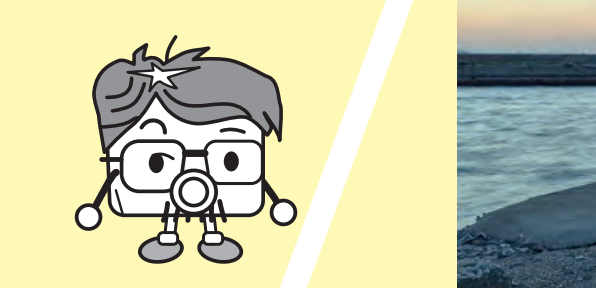
託児サービス始めました。詳しくはHPをご覧ください。

〒031-0031 青森県八戸市大字番町 10-4
TEL: 0178-45-8338 FAX: 0178-24-4531
Mail: art@city.hachinohe.aomori.jp
<https://hachinohe-art-museum.jp>



《Camera Lucida》シリーズ

描画補助器具として使われた「カメラルチダ」から発想し、鏡とマジックミラーで自作した装置を使って撮影された。地面に散った桜の花びらに桜の枝が重なって見える状態を、手持ちのカメラを装置に接続して撮影したシリーズ。



佐藤時啓 Tokihiro Sato

1957 山形県酒田市に生まれる
1981 東京藝術大学美術学部彫刻科卒業
1983 同大学大学院美術研究科修士課程修了
1993 メルセデスベンツ “アートスコープ” グランプリ受賞
2015 第65回芸術選奨文部科学大臣賞受賞
第31回東川賞国内作家賞受賞
現在、東京藝術大学美術学部先端芸術表現科教授。



八戸ブックセンター

紙から本ができるまで展

2022年10月29日 (土)～2023年1月9日 (月・祝) 八戸ブックセンター ギャラリー

佐藤時啓 ― 八戸マジックランタン ―
展覧会図録ができるまで
八戸ブックセンターでは、「紙から本ができるまで展／佐藤時啓 ― 八戸マジックランタン ― 展覧会図録ができるまで」を開催いたします。八戸市美術館で開催される「佐藤時啓 ― 八戸マジックランタン ―」の展覧会図録が、どのようにつくられたのかをギャラリー内で表現します。写真作品がどのように本になるのか、その過程がわかる非常に貴重な機会となっております。展覧会図録とあわせてぜひお楽しみください。



《On the Niche #6》

「第6回ハバナ・ビエンナーレ」(1997)「第9回バングラデシュビエンナーレ」(1999)ほか、多くのグループ展や国際展に参加。「Leslie Tonkonow Gallery」(2019)「Haines Gallery」(2010)「Piet Hein Eek」(2019)「Michiko Galerie」(2021)などの画廊や「酒田市美術館」(1999)「シカゴ美術館」(2005)「Frist Center for the Visual Arts」(2010)「東京都写真美術館」(2014)「鶴岡アートフォーラム」(2015)などの美術館にて展覧。